

## 三 瓶 山 の 自 然 Ⅲ

### 室の内の植生 (2)

西 上 一 義\* 丸 山 巖\*\*

(1971.10.2 受理)

Natural environments of Mt. Sambe III  
Vegetation in the Muronouchi crater (2)

Kazuyoshi NISHIGAMI Iwao MARUYAMA

#### Abstract

An ecological survey of vegetation was made again in the Muronouchi crater in Mt. Sambe. The vegetation was analyzed on four zones in the crater by using the quadrat method. The communities of *Sasa pectorius*, *Salix daisenensis* and *Fagus crenata* were seen on the south side slanting surface of Mt. Otoko-Sambe. The forest on the slanting surface of fun in Muronouchi crater could be distinguished in four communities. These are communities of *Quercus crispola*, *Castanea pubinervis*, *Carpinus* and *Salix daisenensis*. It was recognized that there was a common vegetation pattern [*Salix daisenensis* → X → *Quercus crispola*] both in the 'M' and in the 'O' areas.

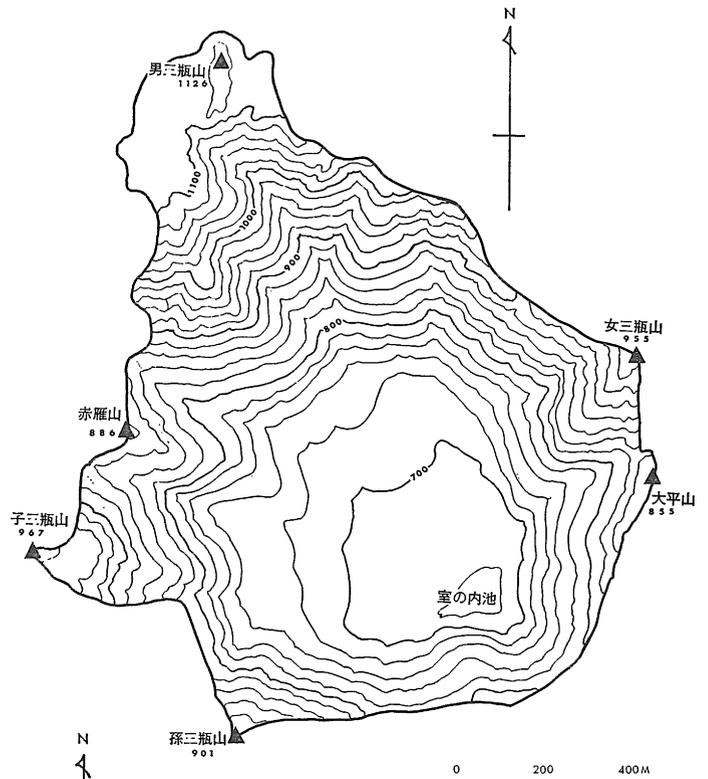
#### I は じ め に

前報において詳しく解析できなかった、男三瓶山南壁および室の内クレーター扇状地上部の植生につき、このたび若干の調査をおこなったのでここに報告する。室の内の植生については、なお精細な調査測定を必要とする地区も随所に残っている。それらの地域に関する報告も今後続けてゆく予定である。

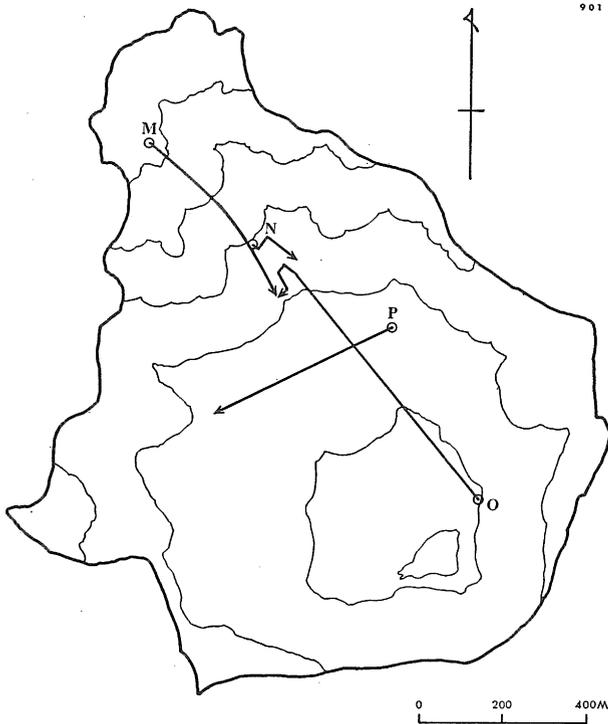
本報告は島根大学文理学部生物学教室の野外実習としておこなった調査結果をまとめたもので、困難な密林中での作業に参加した、田中健・名黒知徳・竹内謙治・井上和典・仙丸寛・石丸くるみ、玉栄茂康・永盛拓行・後藤隆洋の諸君の労に謝意を表する。

\* 島根大学文理学部生物学教室

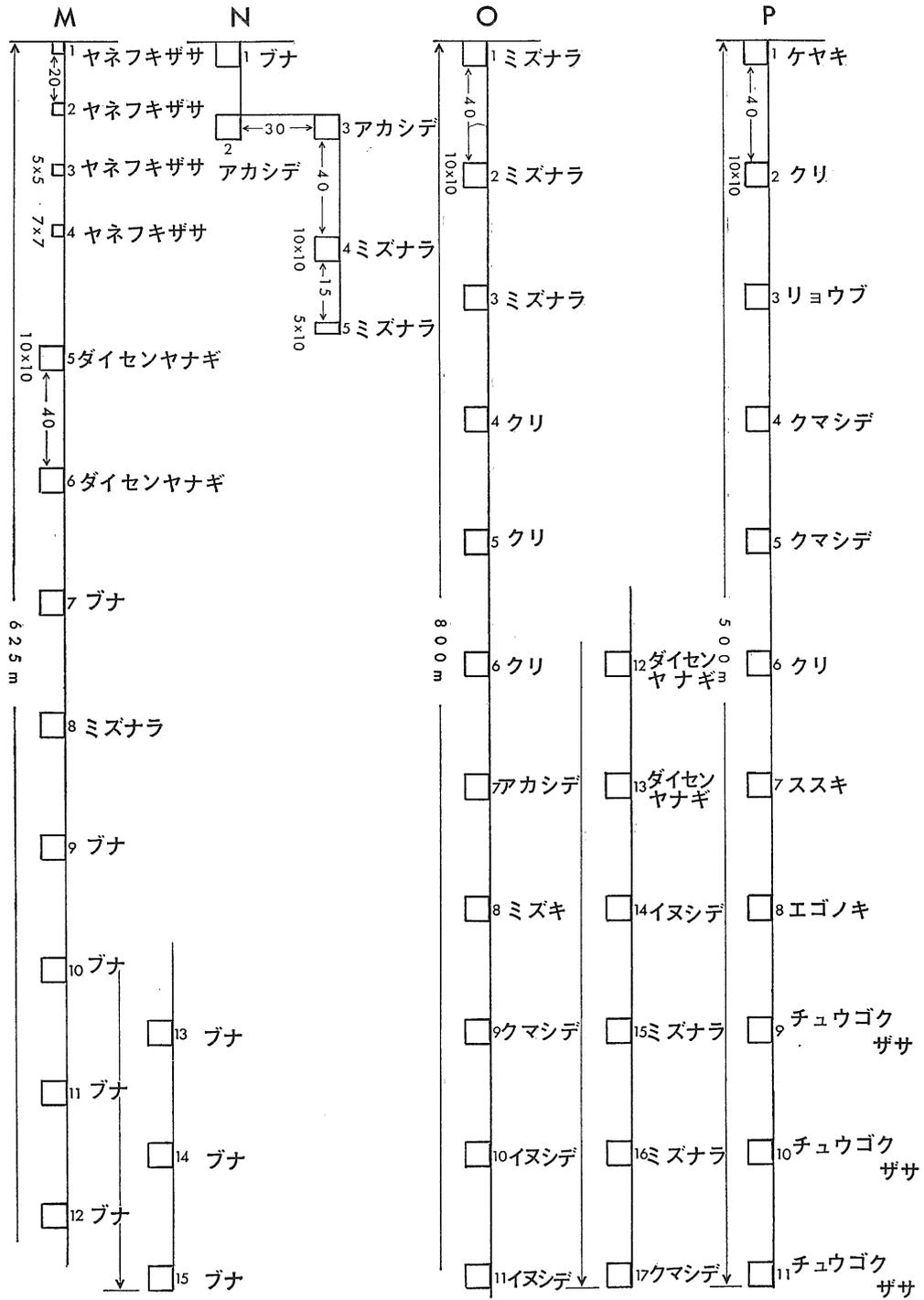
\*\*島根県文化財専門委員



第1図室の内地形図



第2図 コドラート法による調査地点 (M-P)

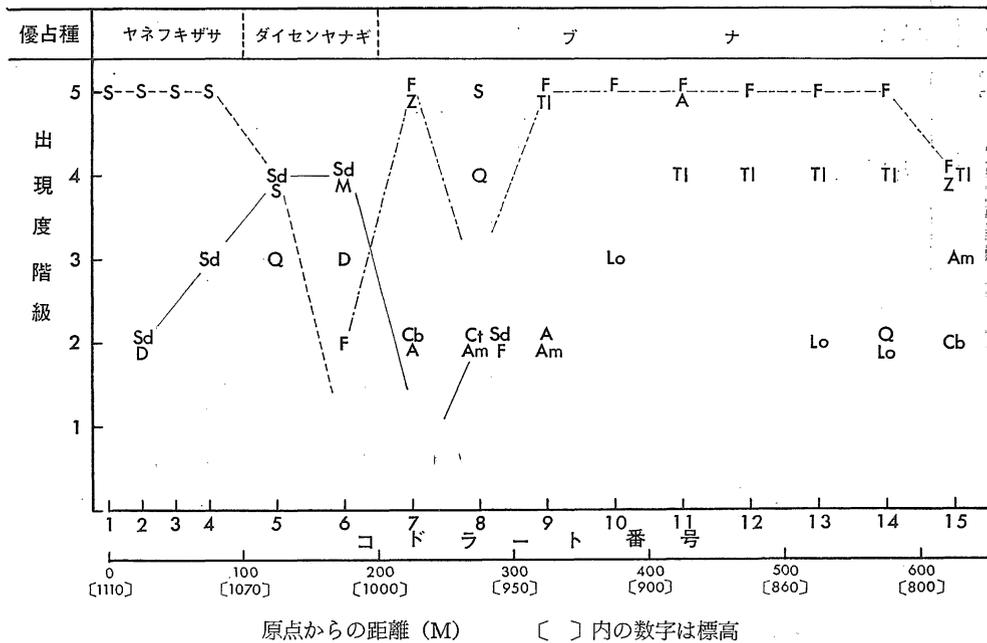


第3図 調査コドラートの位置および大きさとその優占種

II 調 査 方 法

調査地域内に基点M—P（第2図）を設け、それより矢印の方向にコドラートを設定し（第2,3図）、前報と同様にブラウン・ブランケの全標価法によって各植物の出現度階級を求めた。

階 級	出 現 度
5	単位調査面積の $\frac{3}{4}$ ~ $\frac{1}{4}$ を占める
4	” $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{3}{4}$ ”
3	” $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{2}$ ”
2	” $\frac{1}{10}$ ~ $\frac{1}{4}$ ”
	または非常に多数（ただし被度は $\frac{1}{10}$ 以下）
I	占有面積は狭いが、多数個体が現われる
+	占有面積も個体数も少ない
r	極めて稀



第4図 M地区の優占種と主な随伴種

- |               |                |             |
|---------------|----------------|-------------|
| A.....イタヤメイゲツ | Am.....イタヤカエデ  | Cb.....リュウブ |
| Ct.....イヌシデ   | D.....ウツギ      | F.....ブナ    |
| Lo.....ネジキ    | M.....ススキ      | Q.....ミズナラ  |
| S.....ヤネフキザサ  | Sd.....ダイセンヤナギ | T1.....ホツツジ |
| Z.....ケヤキ     |                |             |

調査期日は次のとおりである。

M地区	……………	1971年5月16日
N地区	……………	5月26日
O地区	……………	5月15日
		5月17日
P地区	……………	6月6日

### III 結果ならびに考察

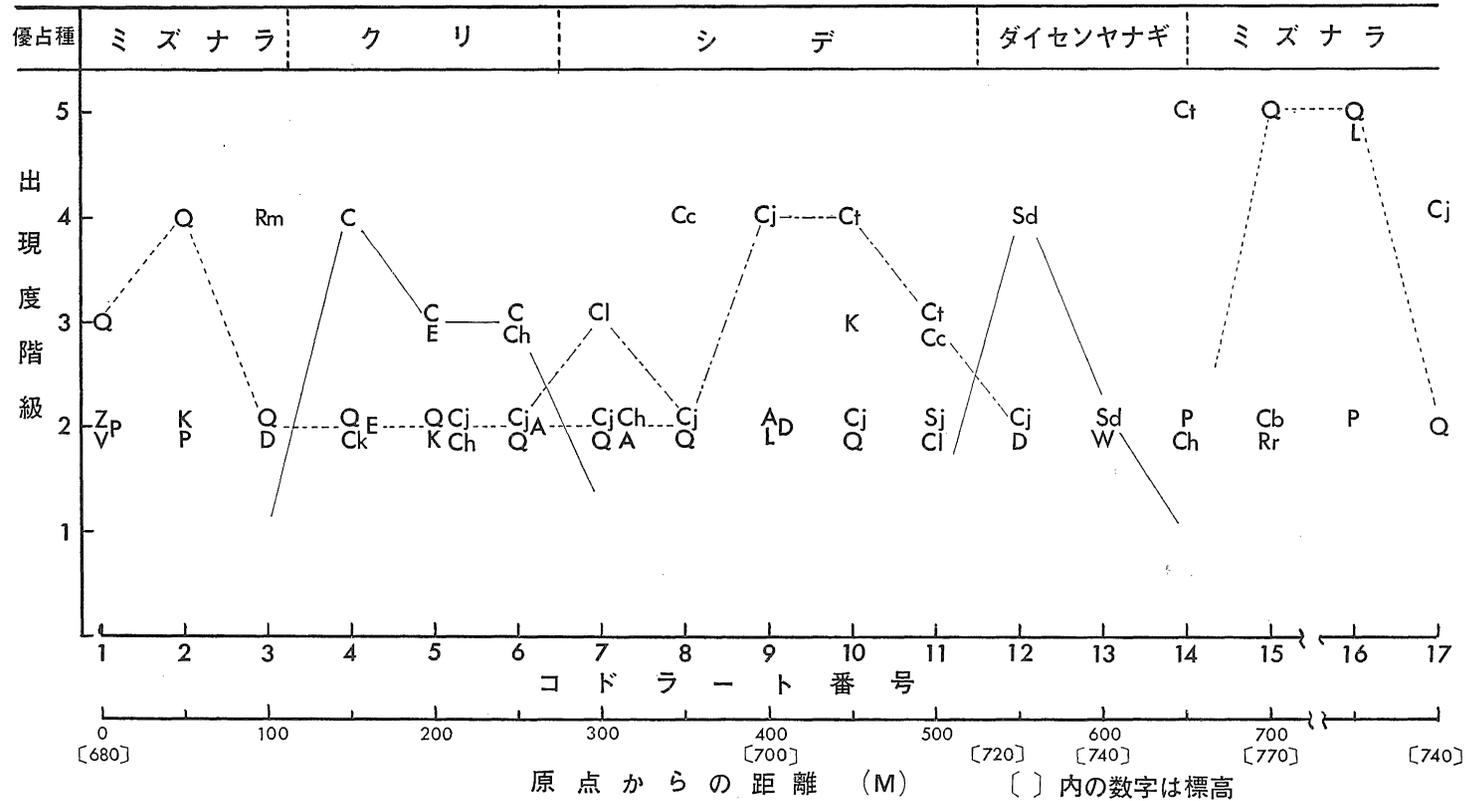
調査の結果、MおよびO地区の優占種および主要な随伴種の出現は第4図および第5図のようになった。

M地区では原点（標高約1110m）より100mにわたって優占種はヤネフキササであった。随伴種としては、ダイセンヤナギが出現し、その出現率は山腹に沿って下降するに従って高まり、5～6地点（標高約1000m）ではヤネフキササに代ってダイセンヤナギが優占種となる。さらにこの山腹を降ると、7地点（標高約950m）附近からブナが優占種となり、その状態は15地点（標高約800m）附近まで続く。M地区下端附近では隣接するミズナラ林の影響があって、ミズナラ・イヌシデ・クリ・ネジキなどが出現するに至る。15地点附近では、ブナの樹幹は小さくなる傾向がみられた。

O地区では、原点（標高約680m、平均斜度 $\frac{1}{10}$ の扇状地形の南東部末端）より150mにわたって、優占種はミズナラ、主要随伴種はヤマザクラ・ハリギリ・ゴマギであった。さらに斜面を登ると、4地点から6地点にわたってクリが優占種となる。この地域での主要な随伴種はミズナラ・イヌシデ・クマシデ・ヤマザクラ・ハリギリ・ヤマボウシなどであった。7地点（標高約700m）から11地点にかけては、アカシデ・クマシデ・イヌシデなどのシデ類が優占種となり、ミズナラ・イタヤメイゲツ・イタヤカエデ・ハリギリ・エゴノキなどが主要随伴種となった。さらに斜面上を登ると、男三瓶南壁面からの流出砂礫上のダイセンヤナギを優占種とする12・13地点に至る。この地域の主要随伴種はクマシデ・ヒメヤシヤブシ・タニウツギ等である。さらに扇状地を北西方向に登りつめると、斜度は約30°となり、男三瓶南斜面の下端となる。この地点15～17では、ほぼ正三角形のミズナラの純林が形成されており、その下端部ではクマシデが優占種となっている。このミズナラの純林から小さな谷をへだてた西側の尾根にもかなり広いミズナラの純林がみとめられる。

N地区は地勢が非常に急峻なため、コドラート設定が十分にできなかった。ブナ・アカシデ・ミズナラが混交林を形成しているが、コドラート内に入らなかったものに、ケヤキ（胸高周囲3m）・ミズナラ（同2m）、(2.5m) (3m) オニイタヤ（同3m）・ブナ（同4.4m）・ヨグソミネバリの巨樹があり、人為的影響・冬季の雪崩からまぬがれて三瓶山周辺でもっとも自然植生のよく保存されたところとなっている。

P地区はO地区の9～10地点の中間をほぼ東西に直行する地区で、シデ・ケヤキ・クリ・リョウブ・エゴノキなどを優占種とする地区である。標高700mないし720mのあたりで、コード

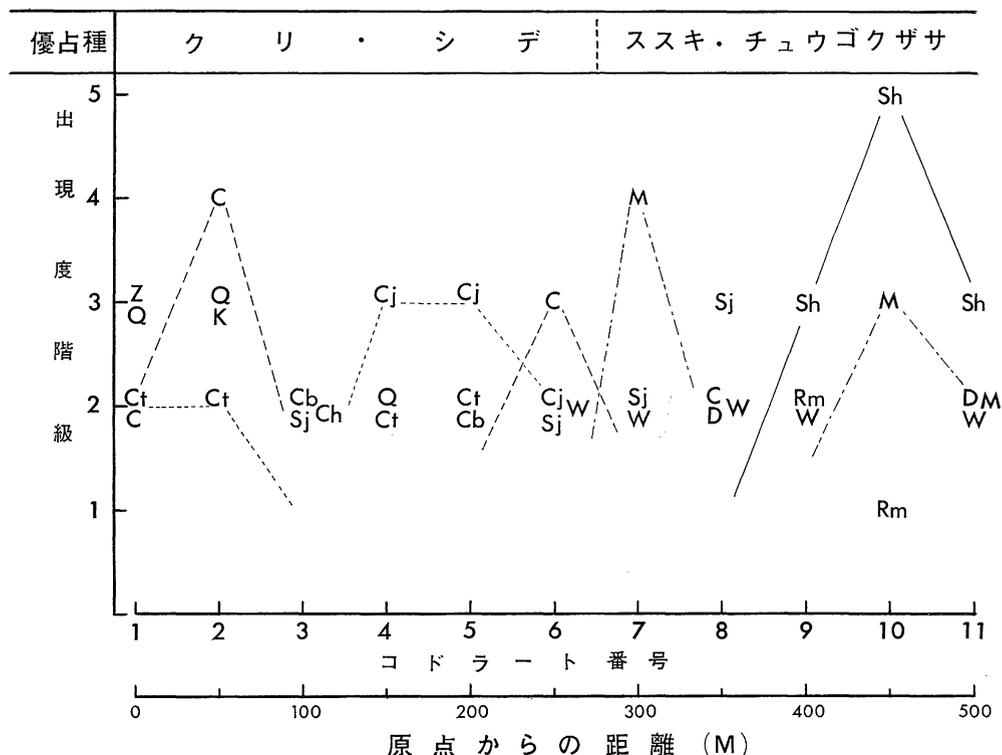


- A…………イタヤメイゲツ
- Cc ……ミズキ
- Ck ……ヤマボウシ
- D…………ウツギ
- L…………クロモジ
- Rm ……ノイバラ
- Sj ……エゴノキ
- Z…………ケヤキ

- C…………クリ
- Ch ……ハイイヌガヤ
- Cl ……アカシデ
- E…………コマユミ
- P…………ヤマザクラ
- Rr ……コバノミツバツツジ
- V…………ゴマギ

- Cb ……リュウブ
- Cj ……クマンデ
- Ct ……イヌシデ
- K…………ハリギリ
- Q…………ミズナラ
- S…………ダイセンヤナギ
- W…………タニウツギ

第5図 O地区の優占種と主なる随伴種

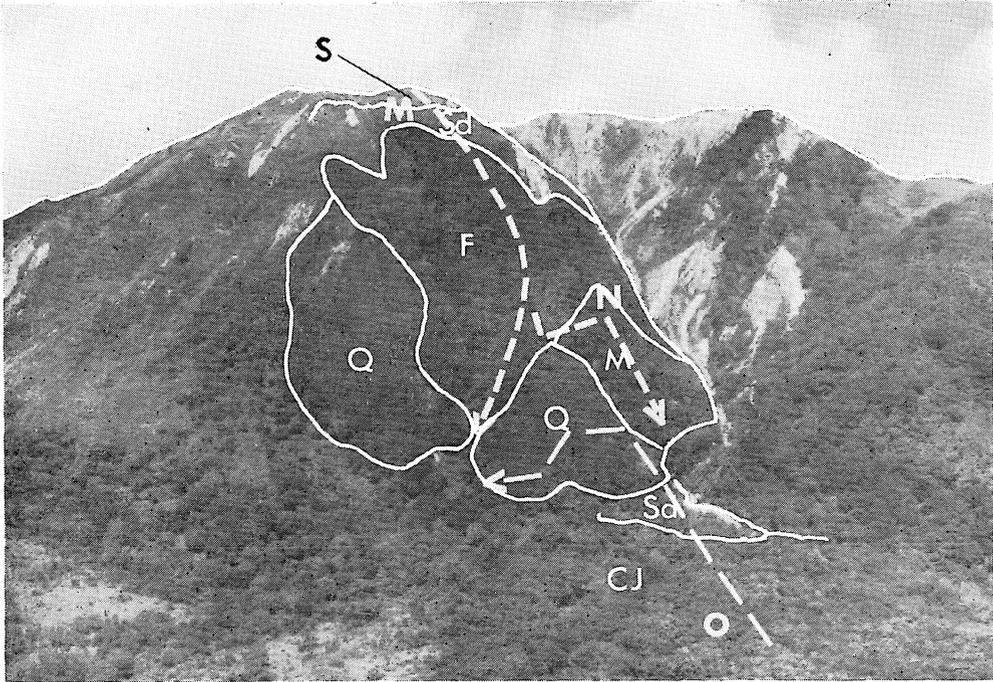


第6図 P地区の優占種と主なる随伴種

- |              |                 |                |
|--------------|-----------------|----------------|
| C.....クリ     | Cb .....リュウブ    | Ch .....ハイイヌガヤ |
| Cj .....クマシデ | Ct .....イヌシデ    | D.....ウツギ      |
| K.....ハリギリ   | M.....ススキ       | Q.....ミズナラ     |
| Rm.....ノイバラ  | Sh .....チュウゴクザサ | Sj .....エゴノキ   |
| W.....タニウツギ  | Z.....ケヤキ       |                |

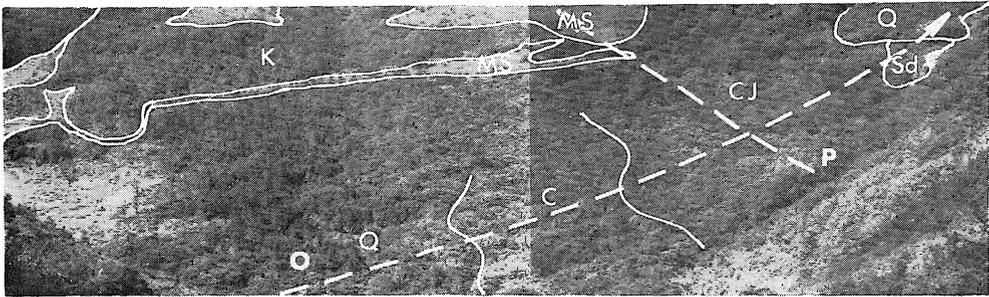
ラート地点の標高差がほとんどないために、植生状態は No. 1~6 の間では顕著な差はない。しかし No. 7 附近で不連続的に森林からススキ草原に変化し、No. 9 附近はチュウゴクザサ草原となり、さらに西進すると子三瓶東麓の草原と接続するに至る。コドラートNo. 6とNo. 7との間で植生に大きな差がみられるのは土壌的要因によるものと考えられるが、今後これを確かめてゆきたい。

これに対して、M地区における南下にともなう植生の変移は、明らかに気温と土壌中の水分量の差によるものである。このM地区およびN地区において、ブナをはじめとしてミズナラ・ケヤキ・オニイタヤなどの巨樹の生育がみられるのは、急峻な地形によって古来人為的影響が及ばなかったためであろう。しかしO地区では林床中に点々と崩解した炭焼窯跡があり、比転的近年に至るまで樹木の伐採がおこなわれていたことを暗示している。このO地区において、北上するに従って生ずる植生の変移は、気温よりむしろ地下水位の変化と考えられる。しかしO地区とM地区との植生パターンを比較すると、顕著な類似があることに気づく。即ちM地区



第7図 M, NおよびO地区(三瓶山主峰南斜面)とその群落区分

S…………ヤネフキザサ優占群落    Sd…………ダイセンヤナギ優占群落    F…………ブナ優占群落  
 Q…………ミズナラ優占群落    M…………ブナ・アカシデ・ミズナラ・ケヤキ・オニタヤ混交林  
 CJ…………シデ類優占群落

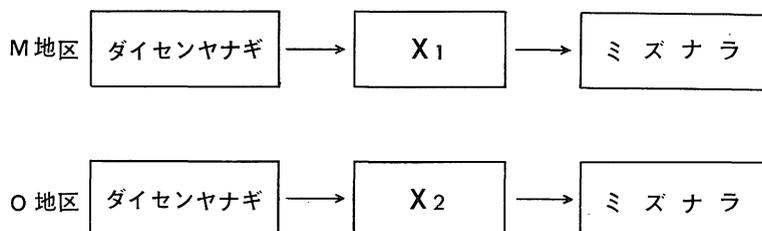


第8図 O, P地区(室の内クレーター)とその群落区分

Q…………ミズナラ優占群落    C…………クリ優占群落,    CJ…………シデ優占群落  
 Sd…………ダイセンヤナギ優占群落    MS…………ススキ・チュウゴクザサ優占群落  
 K…………クヌギ・カシワ優占群落

は急傾斜, 高標高, O地区は緩傾斜・低標高の対象的条件下にあるが, 共にその地区の上部にダイセンヤナギ, 下部にミズナラを持つというパターンが存在する。中間部のX<sub>1</sub>とX<sub>2</sub>とは

両地区の気象条件がその差を作っているものと考えられ、 $X_1$ はブナ、 $X_2$ はクリ・シデ類が主要なものである。両地区の上部にダイセンヤナギが生育するのは、この植物の耐乾性・耐雪性に由来するのではなからうか。また両地区の下部にミズナラが優占するのは主として地下水位の高さに原因があるものと考えられる。ただM地区ではミズナラの純林が形成されているが、



O地区ではケヤキ・ゴマギ・ヤマザクラ・ハリギリその他多数の随伴種が混生しているという差異がある。

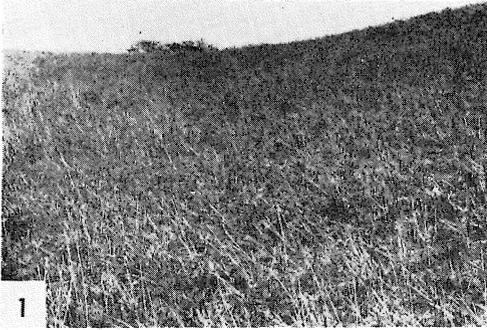
#### IV 摘 要

1. 前報に引き続き三瓶山室の内の植生調査を行った。
2. 男三瓶南側斜面の森林地帯の上部は、山頂に近い部分がヤネフキザサ優占群落、その下部がダイセンヤナギ優占群落であった。また、中腹以下はブナ優占群落であり、最下部と谷をへだてた西の尾根にはミズナラの純林が発達している。
3. ミズナラ林の東に浅い谷をへだてて、ブナ・アカシデ・ミズナラ・ケヤキ・オニイタヤの巨樹による混交林がある。
4. 室の内扇状地の東部の樹林は、扇状地周辺部より北上するに従って、ミズナラ優占群落、クリ優占群落、シデ優占群落、ダイセンヤナギ優占群落と変化する。
5. 男三瓶南側斜面上の植生と、室の内扇状地上の植生とに〔ダイセンヤナギ→ $X$ →ミズナラ〕という共通パターンが存在する。

#### V 文 献

- 丸山 巖・西上一義：三瓶山の自然II 島根大学文理学部紀要IV，島根大学，1971，pp. 164-195  
 丸山 巖：三瓶山の自然，島根県，1971，pp. 21-32

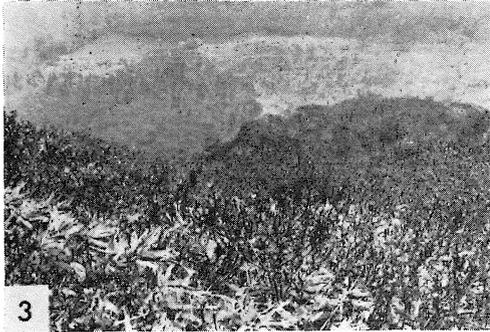
## 図 版 I (1~6)



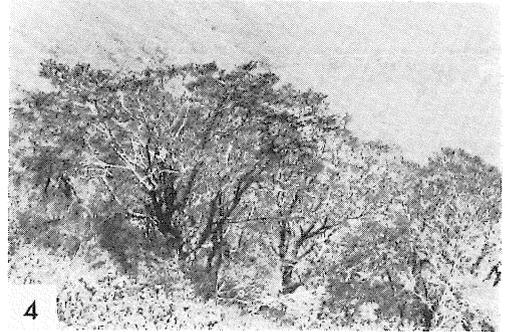
1 M地区 ヤネフキササ  
ス ス キ 優占群落 ('71.5.16)



2 M地区上部 ヤネフキササ優占群落  
( '71.5.16)



3 M地区上部 ダイセンヤナギ優占群落  
( '71.5.16)



4 M地区上部 ブナが出現する  
( '71.5.16)



5 M地区中部 ブナ優占群落  
( '71.5.16)



6 M地区下部 ブナ優占群落  
( '71.5.16)

図版Ⅱ (7~12)



M地区下部 ブナ林末端  
(’71.5.16)



N地区 ブナ  
(’71.5.26)



O地区上部 ミズナラ優占群落  
(’71.5.17)



O地区中部 イヌシデ果実と花  
(’71.5.17)



O地区上部 扇状地上端附近のアブラシバ  
(’71.5.17)



O地区上部 扇状地上端附近  
(’71.5.17)

## 図 版 III (13~18)



13

○地区上部 雪で倒されたダイセンヤナギ  
(’71.6.5)



14

○地区上部 マタタビ純群落  
(’71.6.5)



15

○地区中部 クリ・クマシデ優占群落  
(’71.5.17)



16

○地区中部 イヌシデ優占群落  
(’71.6.5)



17

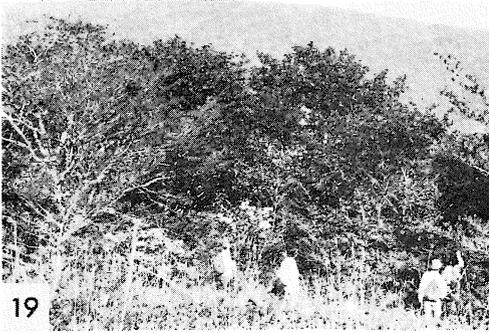
○地区下部 ミズナラ優占群落  
(’71.5.17)



18

○地区西方 シバ草原に侵入するクロマツ  
(’71.6.5)

図 版Ⅳ (19~24)



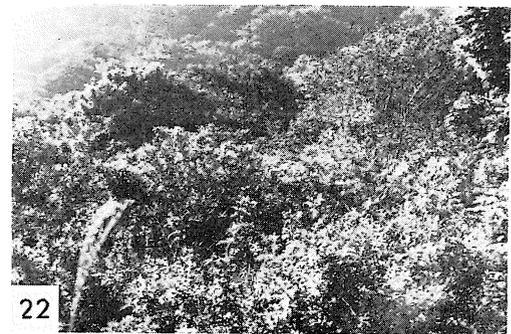
P地区西部 エゴノキ林末端  
(’71.6.6)



P地区西部 チュウゴクザサ・ススキ草原  
(’71.6.6)



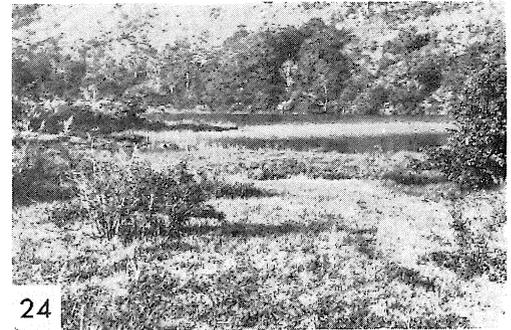
P地区西部 チュウゴクザサ・ススキ草原中  
にはえるクロマツ・タニウツギ  
(’71.6.6)



P地区西部 タニウツギ・エゴノキ  
優占群落 (’71.6.6)



P地区西南部 カシワ優占群落  
(’71.6.6)



扇状地末端の室の内池  
(’71.6.6)

## (附表) 三瓶山室の内植物群落組成

( ) 内の数字は個体数

## 〔M〕 No. 1 (5 m × 5 m)

## 出現度階級

草本層：ヤネフキザサ	5
シコクフウロ	+
ヨモギ	+
アケボノスミレ	+
フデリンドウ・ハバヤマボクチ・ニオイタチツボスミレ・イタドリ・ウリハダカエデ・ツリガネニンジン・アキノキリンソウ・シラヤマギク・ノアザミ・オトコヨモギ…………… r	

## 〔M〕 No. 2 (5 m × 5 m)

低木層：ダイセンヤナギ	2 (1)
ウツギ	2 (1)
草本層：ヤネフキザサ	5
シコクフウロ・ノアザミ・ツリガネニンジン…………… +	
シハイスミレ・シラヤマギク・ミツバツチグリ・オオバギボウシ・アケボノスミレ・ヤマハギ…………… r	
ススキ (昨年の枯れた茎)	5

## 〔M〕 No. 3 (5 m × 5 m)

草本層：ヤネフキザサ	5
シコクフウロ・アカモノ…………… +	
ショウジョウバカマ・アケボノスミレ・ヒメヤシヤブシ・ウリハダカエデ・ノアザミ・ツリガネニンジン・ヤマツツジ・アキノキリンソウ・ホクチアザミ・ニオイタチツボスミレ・フユノハナワラビ…………… r	

## 〔M〕 No. 4 (7 m × 7 m)

低木層：ダイセンヤナギ	3 (15)
アカマツ	+
草本層：ヤネフキザサ	5
ヤマツツジ	1
ヒメヤシヤブシ・シコクフウロ・ホクチアザミ・アキノキリンソウ・ヤマハギ…………… +	
アケボノスミレ・ナガバモミジイチゴ・ニオイタチツボスミレ・ツリガネ	

ニンジン・ヤマブキショウマ・ヤマシロギク・イチヤクソウ・キジムシロ・サクラスミレ・マルバイイチヤクソウ・ニガナ…………… r

つる植物：サルトリイバラ +

## 〔M〕 No. 5 (10 m × 10 m)

低木層：ダイセンヤナギ	4 (10)
ミズナラ	2 (5)
アキグミ	1 (4)
イヌシデ	+
タニウツギ	r (2)

草本層：ヤネフキザサ	3
タガネソウ	2
ナガバモミジイチゴ	1
ヤマシロギク・シコクフウロ・オカトラノオ…………… +	
ヤマハギ・ウリハダカエデ・フデリンドウ・ウマノアシガタ・ノアザミ・シハイスミレ・オウバギボウシ・ヤマハッカ・アケボノスミレ・ニガナ・リュウノウギク…………… r	

## 〔M〕 No. 6 (10 m × 10 m)

低木層：ダイセンヤナギ	4 (10)
タニウツギ	3 (7)
ブナ	2 (2)

草本層：ススキ (昨年の枯茎)	3
ヤマシロギク	1
ナガバモミジイチゴ	1
ヤネフキザサ・ヤマブキショウマ・トリアシショウマ・サラシナショウマ・シシウド…………… +	
シコクフウロ・ツリガネニンジン・ヨモギ・オオバギボウシ・オカトラノオ…………… r	
シシガシラ・ゼンマイ・ミゾシダ… r	

## 〔M〕 No. 7 (10 m × 10 m)

高木層：ブナ	5 (2)
亜高木層：リュウブ	2 (1)
低木層：クロモジ	5 (28)
イタヤメイゲツ	2 (3)

ミヤマガマズミ	2	(3)
イヌシデ	1	(2)
ウリハダカエデ・コアジサイ・ホツツジ・ツリバナ・ツシマナナカマド・コマユミ	+	
ムシカリ	r	
草本層: オウカニコウモリ・チゴユリ	1	
ハイイヌツゲ・ホツツジ・ヌカボシソウ	+	
ハイアジサイ・ミヤマイボタ・ツノハシバミ・キクバヤマボクチ・サラシナショウマ・トリアシショウマ・アキノキリンソウ	r	
シシガシラ	1	イヌワラビ r

〔M〕 No. 8 (10m×10m)

高木層: ミズナラ	4	(6)
イヌシデ	2	(1)
低木層: イタヤカエデ	2	(8)
ダイセンヤナギ	2	(4)
ブナ	2	(1)
タニウツギ	2	(5)
クロモジ	2	(5)
イタヤメイゲツ	2	(4)
ツノハシバミ	2	(3)
コシアブラ	2	(1)
ウツギ	1	(1)
草本層: ヤネフキササ	5	
チゴユリ	1	
ツリガネニンジン・サラシナショウマ・タガネソウ・タチツボスミレ	+	
ハイアジサイ・ヤマツツジ・ミヤコアオイ・ヤマリソウ・ヤマジノホトトギス・ミヤマナルコユリ・キクバヤマボクチ・シシウド・アキノキリンソウ	r	
ゼンマイ	1	シシガシラ +

〔M〕 No. 9 (10m×10m)

高木層: ブナ	5	(2)
イタヤメイゲツ	2	(2)
イタヤカエデ	2	(1)
亜高木層: ブナ	2	(1)
ネジキ	2	(1)
低木層: ホツツジ	5	( )
ムシカリ	2	(4)

アセビ	2	( )
クロモジ	2	(5)
コアジサイ	+	(2)
ツクシトネリコ	+	(1)
草本層: ヤマハッカ	1	
アクシバ	+	
ハイイヌツゲ・ウツギ・コシアブラ・ミヤコアオイ・ヤマジノホトトギス・チゴユリ・ササユリ・スミレサイシン・トリアシショウマ・ヤマシナショウマ	r	
シシガシラ	1	ゼンマイ r

〔M〕 No. 10 (10m×10m)

高木層: ブナ	3	(1)
亜高木層: ブナ	2	(1)
低木層: ホツツジ	3	(30)
ムシカリ	3	(8)
ミズナラ	3	(2)
リュウブ	2	(5)
イタヤメイゲツ	2	(1)
クロモジ	2	(20)
ブナ	2	(1)
ツクシトネリコ	+	
コシアブラ	+	
草本層: チゴユリ	2	
アキノキリンソウ	+	
アクシバ	+	
ジガバチソウ	+	
アオハダ・コアジサイ・ミヤコアオイ・ギンラン	r	
シシガシラ	1	
つる植物: イワガラミ	1	
ツルリンドウ	r	

〔M〕 No. 11 (10m×10m)

高木層: ブナ	5	(8)
イタヤメイゲツ	5	(2)
亜高木層: ツシマナナカマド	2	(2)
イタヤカエデ	2	(1)
低木層: ホツツジ	4	(20)
ムシカリ	2	(10)
クロモジ	2	(9)
ハイイヌツゲ	2	(3)
リュウブ	2	(3)
サワフタギ	1	(3)

草本層：ミヤマガマズミ	1		
チゴユリ	1		
ハイイヌツゲ	+	(20)	
ツルアリドウシ	+		
コアジサイ・アセビ・ウリハダカエデ			
・ミヤマナルコユリ・ヤブコウジ・ア			
クシバ・ジガバチソウ・ミヤコアオイ			
..... r			
シシガシラ	1		
つる植物：イワガラミ	r		
[M] No.12 (10m×10m)			
高木層：ブナ	5	(7)	
亜高木層：ブナ	2	(3)	
リョウブ	2	(1)	
低木層：ホツツジ	4	(30)	
コバノミツバツツジ	2	(11)	
ブナ	2	(4)	
ネジキ	2	(3)	
ミヤマガマズミ	2	(3)	
アセビ	2	(3)	
ナツハゼ	2	(3)	
コアジサイ	2	(2)	
リョウブ	2	(1)	
草本層：ハイイヌツゲ	1	(30)	
コアジサイ	1		
ツルアリドウシ	1		
ヤブコウジ	+		
[M] No.13 (10m×10m)			
高木層：ブナ	3	(2)	
亜高木層：ブナ	3	(7)	
ネジキ	2	(4)	
アオハダ	1	(1)	
低木層：ホツツジ	4	(20)	
アセビ	3	(10)	
ナツハゼ	2	(4)	
コバノミツバツツジ	2	(2)	
ソヨゴ	1	(3)	
草本層：ハイイヌツゲ	1		
ツルアリドウシ	1		
アクシバ	1		
ミヤマガマズミ	+		
リョウブ・コアジサイ・オトコヨウゾ			
メ..... r			
シシガシラ	1		
[M] No.14 (10m×10m)			
高木層：ブナ	5	(5)	
ミズナラ	2	(1)	
亜高木層：ネジキ	2	(3)	
リョウブ	2	(1)	
低木層：ホツツジ	4		
アセビ	2		
ミツバツツジ	2		
ナツハゼ	2		
草本層：ミツバツツジ	1		
シシガシラ	1		
[M] No.15 (10m×10m)			
高木層：ブナ	4	(3)	
ケヤキ	4	(1)	
イタヤカエデ	3	(1)	
ミズナラ	3	(3)	
クマシデ	3	(2)	
ウラジロノキ	2	(1)	
アオハダ	1	(1)	
低木層：ホツツジ	4	(20)	
リョウブ	2	(1)	
コバノミツバツツジ	1	(1)	
クロモジ	+	(1)	
草本層：ヌカボシソウ	+		
ナツハゼ・ツシマナナカマド・サワフ			
タギ・ミヤマガマズミ・アクシバ・カ			
ンスゲ..... r			
シシガシラ	1		
つる植物：イワガラミ	r		
[N] No.1 (10m×10m)			
高木層：ブナ	3	(1)	
ミズナラ	3	(3)	
ヨグソミネバリ	3	(1)	
イヌシデ	2	(2)	
リョウブ	2	(2)	
オニイタヤ	2	(1)	
イタヤメイゲツ	2	(1)	
亜高木層：アセビ	2	(2)	
クマシデ	2	(1)	
低木層：アクシバ	3	(40)	
ホツツジ	3	(12)	
ナツハゼ	2	(5)	
コバノミツバツツジ	2	(3)	
ミヤマガマズミ	2	(4)	

	クロモジ	1 (1)
草本層:	コアジサイ	2 (3)
	ヌカボシソウ	1
	ナツハゼ	1
	シシガシラ	1
つる植物:	サルトリイバラ	2
〔N〕 No.2 (10m×10m)		
高木層:	アカシデ	5 (9)
	クリ	3 (3)
	オニイタヤ	2 (4)
	クマシデ	2 (1)
	リョウブ	1 (1)
	イタヤマゲツ	1 (1)
低木層:	クロモジ	2 (6)
	ミヤマガマズミ	1 (5)
	ハイイヌガヤ	1 (20)
	マルバアオダモ	1 (6)
	コアジサイ	+ (4)
	ウツギ	+ (3)
	ヤマボウシ	+ (2)
	ツノハシバミ	+ (1)
	コバノミツバツツジ	+ (1)
	ナガバモミジイチゴ	r (1)
	ツシマナナカマド	r (1)
	ムラサキマユミ	r (1)
	コマユミ	r (1)
草本層:	ヌカボシソウ	+
	タチツボスミレ・オトコエシ…………… r	
	シシガシラ	+
	サカゲイノデ	r
つる植物:	イワガラミ・ヘクソカズラ・ツタウルシ	
〔N〕 No.3 (10m×10m)		
高木層:	アカシデ	5 (9)
亜高木層:	アカシデ	3 (6)
	リョウブ	2 (2)
低木層:	ハイイヌガヤ	1 (13)
	コバノミツバツツジ	1 (6)
	ハナイカダ	1 (5)
	クロモジ	1 (4)
	ミヤマホウソ	1 (2)
	ミヤマガマズミ	+ (1)
	ヤマウゲイスクグラ	+ (2)

	エゴノキ	+ (1)
	ダンコウバイ	+ (1)
	コアジサイ	+ (1)
	カマツカ	r (1)
	ウリハダカエデ	r (1)
草本層:	カンスゲ	2
	コアジサイ	1
	トリアシショウマ・トゲナシアザミ・ ツシマナナカマド・コマユミ・ヌカボ シソウ・フデリンドウ・タニギキョウ …………… r ミゾシダ・シシガシラ…………… r	
〔N〕 No.4 (10m×10m)		
高木層:	ミズナラ	5 (2)
	アオハダ	2 (1)
亜高木層:	リョウブ	2 (3)
	クマシデ	2 (1)
低木層:	ホツツジ	3 (15)
	コバノミツバツツジ	2 (15)
	アセビ	2 (10)
	ミヤマガマズミ	2 (4)
	リョウブ	2 (2)
	ハイイヌガヤ	1 (5)
	ナツハゼ	1 (3)
	クロモジ	1 (2)
	コシアブラ	1 (2)
	ダンコウバイ	1 (2)
	ミズナラ	1 (1)
草本層:	ミヤコアオイ	+
	ヌカボシソウ	+
	ツルリンドウ	r
	チゴユリ	r
	シシガシラ	1
〔N〕 No.5 (10m×5m)		
高木層:	ブナ	2 (1)
	アオハダ	2 (1)
	クマシデ	2 (1)
	ミズナラ	2 (2)
	イタヤマゲツ	1
	ウラジロノキ	1
〔O〕 No.1 (10m×10m)		
高木層:	ミズナラ	3 (6)
	ケヤキ	2 (3)

	ゴマギ	2 (2)
	ヤマザクラ	2 (1)
低木層:	コバノクロウメモドキ	2 (5)
	ウリハダカエデ	2 (1)
	ウツギ	1 (6)
	ヤブデマリ	1 (4)
	ガマズミ	+ (2)
	ヤマウゲイスカグラ	+ (1)
	ハカリノメ	+ (1)
草本層:	ウバユリ	1
	ニシノホンモンジスゲ	1
	ミヤマイボタ	+ (6)
	コバノフユイチゴ・タチツボスミレ・	
	ミヤマカタバミ・クルマバソウ……+	
	マユミ・コマユミ・ハイイヌツゲ・ミヤ	
	コイバラ・ヒメキンミズヒキ・ヤマオオ	
	バノヤエムグラ・ヤマシロギク・キバ	
	ナアキギリ・ミズヒキグサ・クルマバ	
	ナ・アオイスミレ・イタドリ・ウマノ	
	ミツバ・トリアシショウマ・ミヤコア	
	オイ・ダイコンソウ…………… r	
つる植物:	イワガラミ・ツルマサキ…………… 1	
	アケビ…………… r	

## 〔O〕No.2 (10m×10m)

高木層:	ミズナラ	4 (3)
	ヤマボウシ	2 (3)
	ウリハダカエデ	2 (1)
	ハリギリ	2 (1)
	アカシデ	2 (1)
	ヤマザクラ	2 (1)
低木層:	ゴマギ	+ (4)
	コマユミ	+ (2)
	ヤブデマリ	+ (2)
	ホツツジ	+ (1)
	ハナイカダ	r (1)
草本層:	タチツボスミレ	1
	ウバユリ	+
	ミヤマイボタ・ヤマシロギク・コバノ	
	フユイチゴ・ヤマハタザオ・ミズヒキ	
	グサ・チヂミザサ・コウライテンナン	
	ショウ・ヒメキンミズヒキ・ウマノミ	
	ツバ・ヨモギ・マルバアカソ・ヤマウ	
	ゲイスカグラ・クルマバナ・ジュウモ	
	ンジシダ・サカゲイノデ…………… r	

つる植物: ツルマサキ・イワガラミ・アケビ… r

## 〔O〕No.3 (10m×10m)

高木層:	ミズナラ	2 (1)
	クマノミズキ	2 (1)
	エノキ	2 (1)
低木層:	ノイバラ	4 (多数)
	ウツギ	2 (10)
	クマイチゴ	2 (10)
	ヤマボウシ	2 (2)
	アキグミ	2 (1)
草本層:	ウコギ	2 (3)
	ジャニンジン・ヒメキンミズヒキ・イ	
	タドリ・スイカズラ・オオバコ・ゲン	
	ノショウコ・ヨモギ・オオルリソウ・	
	ミヤマカタバミ・ヤマルリソウ・ミツ	
	バ・クマイチゴ…………… r	
つる植物:	アケビ・ツルカノコソウ…………… r	

## 〔O〕No.4 (10m×10m)

高木層:	クリ	3 (4)
	ヤマボウシ	2 (6)
	ミズナラ	2 (3)
	クロマツ	2 (1)
	イヌシデ	2 (1)
	ウリハダカエデ	2 (1)
	ヤマザクラ	2 (1)
低木層:	コマユミ	2 (10)
	オオモミジ	2 (4)
	イタヤメイゲツ	2 (3)
	ケヤキ	2 (3)
	ハイイヌガヤ	1 (5)
	コバノクロウメモドキ	1 (2)
草本層:	ニシノホンモンジスゲ	1
	クルマバソウ	+
	タチツボスミレ	+
	アキノキリンソウ	+
	ツシマナナカマド・ミヤコイバラ・フ	
	デリンドウ・ジゴクノカマノフタ・ハ	
	イイヌツゲ・ヤマウゲイスカグラ・ク	
	ルマバナ・カキドウシ・ヌスビトハギ	
	・マユミ・ハナイカダ・ツルリンドウ	
	・チゴユリ・ツルカノコソウ・ホタル	
	ブクロ…………… r	
つる植物:	ツルマサキ	r

## 〔O〕No.5 (10m×10m)

高木層:	クリ	3	(5)
	ミズキ	2	(1)
	ミズナラ	2	(1)
	ハリギリ	2	(1)
	クマシデ	2	(1)
	ヤマボウシ	2	(1)
亜高木層:	クマシデ	2	(2)
低木層:	コマユミ	3	(21)
	ハイイヌガヤ	2	(23)
	コバノクロウメモドキ	1	(8)
	オオモミジ	1	(1)
	クロモジ	1	(5)
	ツノハシバミ	+	(3)
	イタヤメイゲツ	+	(2)
	リョウブ	+	(1)
	ウリハダカエデ	+	(1)
草本層:	ダンコウバイ・ハイアジサイ・ヌカボシソウ・イタドリ・シシウド・フキ・トリアシショウマ・タチツボスミレ・クルマバソウ・トゲナシアザミ・サカゲイノデ		r
つる植物:	イワガラミ・ツルマサキ		r

## 〔O〕No.6 (10m×10m)

高木層:	クリ	3	(2)
	クマシデ	2	(2)
	ハリギリ	2	(1)
	エノキ	2	(1)
	イタヤメイゲツ	2	(1)
	ミズナラ	2	(1)
	ヤマザクラ	2	(1)
亜高木層:	イタヤメイゲツ	2	(2)
	クリ	2	(1)
	ミズナラ	2	(1)
	ミズキ	2	(1)
低木層:	ハイイヌガヤ	3	(29)
	コマユミ	2	(22)
	ハイアジサイ	1	(6)
	ツリバナ	+	(3)
	コバノクロウメモドキ	+	(3)
	クロモジ	r	(1)
	サンショウ	r	(1)
草本層:	ミヤマイボタ・ガマズミ・ウバユリ・クルマバソウ・フデリンドウ・トゲナシ		

	アザミ・コウライテンナンショウ・ヤマシロギク・ヤマウグイスカグラ	r
	サカゲイノデ	+
	ワラビ	r
つる植物:	ゴトウズル	2
	イワガラミ	+

## 〔O〕No.7 (10m×10m)

高木層:	アカシデ	3	(3)
	クマシデ	2	(3)
	ミズナラ	2	(1)
	イタヤカエデ	2	(1)
	イタヤメイゲツ	2	(1)
亜高木層:	ヤマボウシ	2	(1)
低木層:	ハイイヌガヤ	2	(20)
	コマユミ	+	(3)
	ウリハダカエデ	r	(1)
	クロモジ	r	(1)
	ミヤマホウソ	r	(1)
草本層:	サンインスマレサイシン・クルマバソウ		+
	ダンコウバイ・ウツギ・ハイアジサイ・ミヤマイボタ・コタニワタリ・フデリンドウ・フキ・シシウド・ミヤマカタバミ・ウバユリ・コバノフユイチゴ・ニシノホンモンジスゲ・タチツボスミレ・ツルリンドウ・タニギキョウ・サカゲイノデ・ジュウモンジシダ・ゼンマイ		r
つる植物:	ツタウルシ・アケビ		r

## 〔O〕No.8 (10m×10m)

高木層:	ミズキ	4	(1)
	ミズナラ	2	(2)
	クマシデ	2	(1)
亜高木層:	クマシデ	2	(4)
	ツシマナナカマド	2	(1)
低木層:	クロモジ	2	(10)
	ツノハシバミ	2	(1)
	ハイアジサイ	1	(多数)
	ウリノキ	+	(10)
	ヤブデマリ	+	(5)
	エゴノキ	+	(2)
	タニウツギ	r	(1)
	サンショウ	r	(2)
	ツリバナ	r	(2)
	ダン		

	コウバイ	r (2)	イタヤメイゲツ	
	r (2)	ガマズミ	r (1)	
草 本 層:	ツクシトネリコ	+		
	トゲナシアザミ	+		
	ミヤマイボタ・サワハコベ・イタドリ			
	・フデリンドウ・コバノクロウメモド			
	キ・イチヤクソウ	..... r		
	ゼンマイ・コタニワタリ・オシダ・サ			
	カゲイノデ・ジュウモンジシダ・クジ			
	ャクシダ	..... r		
つる植物:	イワガラミ	+		
[O] No.9	(10m×10m)			
高 木 層:	クマシデ	4 (2)		
	ツクシトネリコ	2 (2)		
	イタヤメイゲツ	2 (2)		
	エゴノキ	2 (1)		
亜高木層:	イタヤメイゲツ	2 (1)		
	サンショウ	2 (1)		
	ダンコウバイ	2 (1)		
低 木 層:	クロモジ	2 (7)		
	ハイイヌガヤ	2 (7)		
	ウツギ	2 (4)		
	ミズキ	2 (1)		
	キブシ	2 (1)		
	ウリノキ	+	(1)	
	エゴノキ	+	(1)	
	ハナイカダ	+	(1)	
	コバノクロウメモドキ	+	(1)	
	ツリバナ	+	(1)	
	ゴマギ	+	(1)	
	ハイアジサイ	+	(1)	
	コバノミツバツツジ	r (1)		
草 本 層:	クマバソウ	+		
	ヌカボシソウ・ヤマシャクヤク・ニシ			
	ノホンモンジスゲ・ナガバモミジイチ			
	ゴ・サワハコベ	..... r		
	サカゲイノデ・リョウメンシダ	..... +		
	クジャクシダ・ガンソク	..... r		
つる植物:	ウラジロマタタビ	1		
	ツルウメモドキ	r		
[O] No.10	(10m×10m)			
高 木 層:	イヌシデ	4 (5)		
	ハリギリ	3 (1)		
	ウラジロノキ	3 (1)		

	クマノミズキ	2 (1)		
	ヨグソミネバリ	2 (1)		
	エゴノキ	2 (1)		
亜高木層:	クマシデ	2 (1)		
	ミズナラ	2 (1)		
	イタヤメイゲツ	2 (1)		
低 木 層:	ウツギ	2 (3)		
	イタヤメイゲツ	2 (2)		
	マユミ	2 (3)		
	コバノクロウメモドキ	2 (4)		
	クロモジ	2 (3)		
	キブシ	2 (3)		
	ヤマウグイスカグラ	2 (2)		
	ハイアジサイ	2 (5)		
	ウリハダカエデ	2 (3)		
	サンショウ	2 (1)		
	オオモミジ	2 (1)		
	ハナイカダ	2 (1)		
	ツリバナ	2 (1)		
	イタヤカエデ	2 (1)		
	カマツカ	2 (1)		
	ミズキ	1 (1)		
	ウリノキ	1 (2)		
草 本 層:	カンスゲ	2		
	ニシノホンモンジスゲ	2		
	コアカソ・ミヤマイボタ・ハナイカダ	..... +		
	コウライテンナンショウ・サンインス			
	ミレサイシン・アキチョウジ・クルマ			
	バソウ	..... r		
	サカゲイノデ・リョウメンシダ・ハク			
	モウイノデ	..... +		
	タニイヌワラビ・コタニワタリ	..... r		
つる植物:	ゴトウズル	2		
	イワガラミ	2		
	マタタビ・サンカクズル・ツルマサキ	..... +		
[O] No.11	(10m×10m)			
高 木 層:	イヌシデ	3 (2)		
	ミズキ	3 (1)		
	エゴノキ	2 (1)		
亜高木層:	イヌシデ	2 (2)		
	クマシデ	2 (1)		
低 木 層:	タニウツギ	2 (7)		

ウツギ	2	(6)
ゴマギ	2	(3)
カマツカ	2	(2)
ミヤマイボタ	2	(1)
ウリノキ	1	(3)
ダンコウバイ	+	(4)
ヤブデマリ	+	(2)
マユミ	+	(1)
サンショウ	+	(1)
ウリハダカエデ	+	(1)
草本層:ニシノホンモンジスゲ	2	
クマバソウ	1	
カンスゲ	1	
コアカソ	+	
イタドリ・コウライテンナンショウ・		
ジャニンジン・フキ・ヤマルリソウ・		
ヨモギ・タニギキョウ・チヂミザサ		
..... r		
ジュウモンジシダ	1	
ハクモウイノデ	+	
トラノオシダ・クサソテツ..... r		
つる植物:マタタビ	3	
ゴトウヅル・ツタウルシ..... 1		

〔O〕 No.12 (10m×10m)

亜高木層:ダイセンヤナギ	3	(4)
クマシデ	2	(1)
ヒメヤシヤブシ	2	(1)
低木層:ダイセンヤナギ	4	(20)
ウツギ	2	(8)
ヤブデマリ	2	(10)
ウリハダカエデ	2	(3)
ゴマギ	1	(4)
イヌシデ	+	(1)
クロモジ	+	(1)
ウリノキ	+	(1)
ハイイヌガヤ	r	(1)
ヒヨドリバナ	r	
サンショウ	r	
草本層:コアカソ・フキ..... 1		
ノイバラ・ヤマシロギク・ヨモギ・ク		
ルマバソウ..... +		
ハイイヌガヤ・ハイアジサイ・イタド		
リ・ウド..... r		
クサソテツ・リュウメンシダ・サカゲ		

イノデ・オシダ..... +		
つる植物:マタタビ	1	
ゴトウヅル	+	

〔O〕 No.13 (10m×5m)

低木層:ダイセンヤナギ	2	(2)
タニウツギ	2	(2)
クロモジ	2	(1)
エゴノキ	2	(1)
ハイイヌガヤ	1	(20)
ヤブデマリ	1	(6)
ウツギ	1	(1)
ゴマギ	1	(1)
草本層:ニシノホンモンジスゲ	1	
コアカソ・ゴマギ・ミヤマカタバミ		
..... +		
ハイアジサイ・イタドリ・ヤマルリソ		
ウ・チヂミザサ・ジャニンジン・カキ		
ドウシ・タガネソウ・ヤマネコノメソ		
ウ・カンスゲ・チュウゴクザサ..... r		
サカゲイノデ・ジュウモンジシダ... +		
リュウメンシダ	r	
つる植物:マタタビ	2	
イワガラミ	r	

〔O〕 No.14 (10m×10m)

高木層:イヌシデ	5	(8)
ヤマザクラ	2	(1)
低木層:ハイイヌガヤ	2	(10)
ツノハシバミ	2	(3)
イタヤカエデ	1	(1)
イタヤメイゲツ	1	(1)
キブシ	1	(3)
タンナサワフタギ	+	(1)
クロモジ	r	(1)
草本層:チュウゴクザサ	5	
クロモジ	1	(1)
ウツギ	1	
コアジサイ	1	
トリアシショウマ	1	
ガマズミ	+	(1)
つる植物:サルトリイバラ	r	

〔O〕 No.15 (10m×10m)

高木層:ミズナラ	5	(16)
リュウブ	2	(5)

亜高木層:	リョウブ	2	(2)
低木層:	コバノミツバツツジ	2	(9)
	イタヤメイゲツ	2	(5)
	ダンコウバイ	2	(3)
	ホツツジ	2	(6)
	ミヤマガマズミ	1	(6)
	コアジサイ	1	(3)
	コバノガマズミ	1	(2)
	クロモジ	+	(1)
	ヤマボウシ	r	(1)

草本層:	ナツハゼ・ミヤコアオイ	+
	ウリハダカエデ・キクバヤマボクチ・	
	コアジサイ・アキノキリンソウ・チゴ	
	ユリ・イチヤクソウ・カンスゲ・シハ	
	イスミレ	r
	シシガシラ	+
	ゼンマイ	r

つる植物: サルトリイバラ

## 〔O〕 No.16 (10m×10m)

高木層:	ミズナラ	5	(16)
	ヤマザクラ	2	(1)
亜高木層:	ミズナラ	2	(1)
低木層:	クロモジ	5	
	キブシ	2	
	ミヤマガマズミ	2	
	ハイイヌツゲ	2	
	ゴマギ	2	
	ダンコウバイ	2	
草本層:	フキ	1	
	コアカソ・アキチヨウジ・ムカゴイラ		
	クサ・イタドリ・キバナアキギリ・ヤ		
	マルリソウ・ヤマシロギク・ミズヒキ		
	・イラクサ	+	
	トゲナナシアザミ	r	
	ゼンマイ・クジャクシダ・サカゲイノ		
	デ	+	

## 〔O〕 No.17 (10m×10m)

高木層:	ミズナラ	2	(1)
	クマシデ	4	(8)
亜高木層:	ミズナラ	2	(1)
	クマシデ	2	(4)
低木層:	クロモジ	3	(20)
	ホツツジ	3	(20)
	ハナイカダ・カエデの一種・ニワトコ		
	・ウツギ・コマユミ	+	

草本層:	ヤネフキザサ	2
	カンスゲ	2
	ニシノホンモンジスゲ・ヤマルリソウ	
	・トゲナシアザミ・カラムシ・ヤマシ	
	ロギク	+
	カエデの一種・コアジサイ・オオカニ	
	コウモリ・キクバヤマボクチ・トリア	
	シショウマ	r
	サカゲイノデ	1

## 〔P〕 No.1 (10m×10m)

高木層:	ケヤキ	3	(1)
	ミズナラ	3	(1)
	イヌシデ	2	(2)
	クリ	2	(1)
	ウリハダカエデ	2	(1)
	ミズキ	2	(1)
	カエデの一種	2	(1)
低木層:	イヌシデ	2	(1)
	ミズナラ	2	(1)
	チドリノキ	2	(1)
	ヤマボウシ	2	(1)
	ヤマモミジ	2	(1)
	イタヤメイゲツ	2	(1)
	ウツギ	2	(4)
	サンショウ	+	(1)
草本層:	クマバソウ	2	
	アオイスミレ・コバノフユイチゴ・サ		
	ンインスミレサイシン・ハイアジサイ		
	・ウマノミツバ	1	
	フキ・トゲナシアザミ・ヤマシロギク		
	・ムカゴイラクサ	+	
	ハイイヌツゲ・イタドリ・ダイコンソ		
	ウ・ヒメキンミズヒキ・ウバユリ	r	
	クサソテツ	3	
	オシダ・サカゲイノデ	1	
	リョウメンシダ	+	

## 〔P〕 No.2 (10m×10m)

高木層:	クリ	4	(3)
	ミズナラ	3	(7)
	ハリギリ	3	(1)
	イヌシデ	2	(1)
	クマノミズキ	1	(1)
亜高木層:	イヌシデ	2	(3)

	イタヤメイゲツ	2 (3)
	ミズナラ	2 (1)
低木層:	イヌシデ	3 (10)
	クリ	2 (3)
	ヤマボウシ	2 (3)
	イタヤメイゲツ	2 (1)
	ゴマギ	+ (2)
	ニワトコ	+ (1)
草本層:	クルマバソウ	1
	ハイアジサイ・ウリハダカエデ・ミヤマキケマン・コアカソ・ボタンネコノメ・チヂミザサ	+
	キツリフネ・オニタビラコ・ミヤマカタバミ・ジャンジン・オオバコ・タチツボスミレ・ヤマルリソウ・ウド・ミズヒキグサ・イヌトウバナ・エゾエノキ・ツクシトネリコ	r
	オシダ	2
	クジャクシダ	r
つる植物:	イワガラミ	1
	ツルマサキ・ノブドウ・ゴトウヅル	..... r

## 〔P〕No.3 (10m×10m)

亜高木層:	リョウブ	2 (2)
	エゴノキ	2 (1)
	ヤマグワ	2 (1)
低木層:	ハイイヌガヤ	2 (10)
	クロモジ	2 (7)
	ウリノキ	2 (5)
	ウツギ	2 (5)
	サンショウ	+ (3)
	ハナイカダ	+ (1)
	ハイアジサイ	r (1)
草本層:	コアカソ	1
	クルマバソウ	+
	イタドリ	+
	コバノクロウメモドキ・ジャンジン・ヌカボシソウ・ニシノホンモンジスゲ	..... r
	クサソテツ	3
	タニイヌワラビ	+
	コタニワタリ	r
つる植物:	ゴトウヅル	1

## 〔P〕No.4 (10m×10m)

高木層:	クマシデ	3 (4)
------	------	-------

	メダラ	2 (1)
	エゴノキ	2 (1)
	イヌシデ	2 (1)
	ケヤキ	1 (1)
亜高木層:	ミズナラ	2 (3)
低木層:	ウツギ	3 (7)
	ウリハダカエデ	2 (3)
	ツクシトネリコ	1 (3)
	ミヤマホウソウ	1 (2)
	イタヤメイゲツ	1 (2)
	ウリノキ	1 (1)
草本層:	ヤマシロギク・クルマバソウ	..... 1
	コアカソ・チヂミザサ・サンショウ	..... +
	ハイイヌツゲ・タチツボスミレ・チゴユリ・ヌスビトハギ・ジャンジン・ニシノホンモンジスゲ・クマイチゴ	..... r
	タニイヌワラビ	+
	コタニワタリ	r
つる植物:	ゴトウヅル	+

## 〔P〕No.5 (10m×10m)

高木層:	クマシデ	3 (8)
	イヌシデ	2 (2)
	アオハダ	2 (2)
	ケヤキ	2 (1)
	ミズキ	2 (1)
亜高木層:	リョウブ	2 (9)
	クマシデ	2 ( )
	エゴノキ	1 (1)
低木層:	クロモジ	2 (8)
	ウリノキ	1 (3)
	コマユミ	1 (2)
	アオハダ	1 (1)
草本層:	カンスゲ	1
	チュウゴクザサ・ナガバモミジイチゴ	..... +
	コアカソ・チヂミザサ・ハイアジサイ・ミヤマガマツミ	..... r
	サカゲイノデ	+
	ジュウモンジシダ・タニイヌワラビ	..... r
つる植物:	ゴトウヅル・ツタウルシ・カモメヅル	..... r

## 〔P〕No.6 (10m×10m)

高木層:	クリ	3	(2)
	クマシデ	2	(1)
亜高木層:	エゴノキ	2	(1)
	ツシマナナカマド	2	(1)
	コマユミ	2	(1)
	ウリハダカエデ	1	(1)
	ケヤキ	1	(1)
	ダイセンヤナギ	1	(1)
低木層:	タニウツギ	2	(3)
	クロモジ	1	(2)
	サンショウ	1	(2)
	ウリノキ	1	(5)
	ウツギ	1	(2)
	ゴマギ	+	(2)
	ハイアジサイ	+	
	ヤブデマリ	+	

## 草本層: コアカソ・ニシノホンモンジスゲ... 1

	アキチョウジ	+
	カンスゲ・ハイアジサイ・ヤナギイボ	
	タ・クマバソウ・サンインスマレサ	
	イシン・マユミ・タニギキョウ..... r	
	ジュウモンジシダ	+

つる植物: ゴトウヅル r

## 〔P〕No.7 (10m×10m)

亜高木層:	エゴノキ	2	(1)
	クロマツ	2	(1)
	カスミザクラ	2	(1)
	ヤマザクラ	2	(1)
低木層:	ウツギ	2	(10)
	タニウツギ	2	(2)
	ゴマギ	2	(1)
	ガマズミ	2	(1)
	クリ	1	(1)

草本層:	ススキ	4
	ヤマハギ	2
	ノイバラ	2
	ニシノホンモンジスゲ	2
	ワラビ	+

## 〔P〕No.8 (10m×10m)

高木層:	エゴノキ	3	(1)
	エゾエノキ	2	(1)
亜高木層:	クリ	2	(1)
低木層:	ウツギ	2	(7)

サンショウ 2 (6)

タニウツギ 2 (4)

ヤブデマリ 2 (2)

クリ 2 (1)

ヌルデ 2 (1)

ゴマギ 1 (3)

ガマズミ 1 (1)

マユミ + (1)

ツノハシバミ + (1)

## 草本層: ニシノホンモンジスゲ 2

イタドリ・コアカソ..... 1

カンスゲ +

トリアシショウマ・コアジサイ・ミヤ

コイバラ・オニドコロ・フタリシズカ

キバナアキギリ..... r

つる植物: アケビ 1

## 〔P〕No.9 (10m×10m)

高木層: エゴノキ 2 (1)

亜高木層: クリ 2 (3)

低木層: ノイバラ 2 (10)

タニウツギ 2 (2)

ゴマギ 2 (1)

グミ 2 (1)

エゴノキ 1 (3)

ミズナラ + (1)

## 草本層: チュウゴクザサ 3

ワラビ 1

ヒガンハギ・ススキ..... +

つる植物: アケビ +

## 〔P〕No.10 (7m×7m)

低木層: ノイバラ 1 (8)

グミ + (2)

## 草本層: チュウゴクザサ 5

ススキ 3\*

ヒガンハギ・ナワシロイチゴ・ヤマハ

ツカ・アキノキリンソウ・オトコヨモ

ギ..... r

ワラビ 1

つる植物: エビヅル・サルトリイバラ・サンカク

ヅル・イケマ・ツヅラフジ・ツルウメ

モドキ..... r

\* 秋季には5となりススキ草原となる。

## 〔P〕No.11 (7m×7m)

低木層：ウツギ	2 (10)
タニウツギ	2 (10)
ヌルデ	2 (7)
草本層：チュウゴクザサ	3
ススキ	2
オカトラノオ・ニシノホンモジスゲ・	
ナガバモミジイチゴ……………	1

オケラ・ヤマハッカ・フタリシズカ・ヒ	
ロハヤマヨモギ・ヤマシャクヤク…+	
ヤマジノホトトギス・ヒトリシズカ・	
アキチヨウジ・キビナワシロイチゴ・	
モリアザミ……………	r
つる植物：サルトリイバラ	+
ノブドウ	r